

農業

+

福祉

生薬栽培

社会福祉法人 はるにれの里
農業生産法人てみるファーム



安心・美味しい・

北海道厚田産



社会福祉法人はるにれの里
ふれあいきのこ村

取り扱い商品：菌床生しいたけ・乾燥しいたけ・その他加工商品

北海道石狩市厚田区聚富488-1 TEL0133-60-3466

厚田はまなす園

暮らす



地域での生活
グループホーム
やすらぎ 15ヶ所

居宅介護支援
ぽけっと

地域活動センター
彩

働く



平成15年
ふれあいきのこ村

平成22年
農業生産法人
てみるファーム

平成23年
とれたってマルシェ

はるにれの里 information

ATSUTA ISHIKARI SAPPORO



グループホーム一覧

- 1 やすらぎ203
- 2 厚田はまなす荘
- 3 やすらぎ201
- 4 ひまわり
- 5 白樺202
- 6 やすらぎ205
- 7 やすらぎ207
- 8 やすらぎ208
- 9 やすらぎ209
- 10 来夢
- 11 来夢
- 12 さくら
- 13 つばき
- 14 ごもれび
- 15 あしり
- 16 たんぼぼの家
- 17 ふりっばー
- 18 ようよう
- 19 石狩はまなす荘
- 20 まあむ
- 21 いるか
- 22 こすもす
- 23 つばさ
- 24 はばたき
- 25 あろん
- 26 らいふ
- 27 飛雁里
- 28 りれい
- 29 ほしの窓
- 30 ほしの空
- 31 うたたね
- 32 とまと
- 33 さらん
- 34 よもぎ
- 35 あてんぼ

ふれあいきのこ村

平成15年 椎茸栽培始まる

- **椎茸栽培の特徴**
- 石狩市の協力により、ごみ焼却炉から余熱を送ってもらいハウス・管理棟を暖房で椎茸の栽培をおこなう。
- 余熱利用で燃料コスト減になる。
- **リサイクル**
- さらに使用済み廃菌床を利用した暖房
- 廃菌床を利用したペレット製造
- 石狩市公共施設に廃菌床ペレットを販売し、暖房・お風呂に使用されている
-





遊休農地を利用した

平成23年 生薬の栽培を開始

- とれたってマルシェ開設 利用者9名
- 農業生産法人てみるファームへの施設外就労
- 発達障がい者で長期のひきこもりの方
- 発達障がい者で一般就労を転々としてきた
- 発達障がい者で触法の経験者たち
- 自閉症者で施設から地域に移行した方

生薬栽培の作業の適性

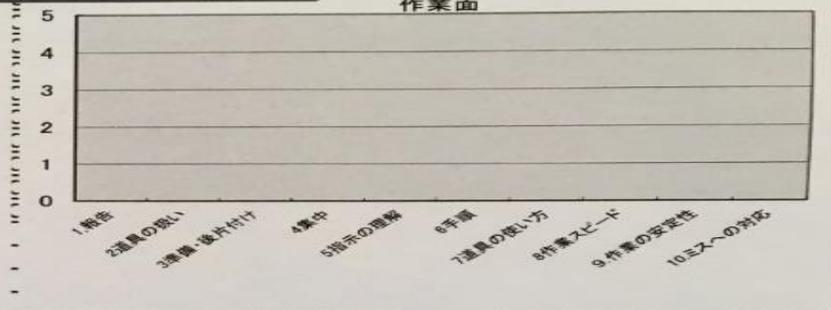
- 対人関係が極端に苦手な利用者でも就労が可能となる
- 生薬栽培は一般の野菜栽培と違い機能の高い発達障がい者にとってプライドを高く保たれる。
(薬を造る仕事であり社会貢献と認識)
- 室内栽培の仕事もあり、天候に左右される事が少ないことから、加工まで一貫した作業工程が保証される。
- ノルマが比較的柔軟に設定でき発達障がい者の特性に合わせて進めることができる。

双方からの評価

氏名 期間	[Redacted]	評定者	雇用側 東海林			
		生活 #DIV/0!	Point	作業 0.0	Point	平均
		早退 日	静養 日	稼働率 100 %		



記入しないで提出しま



5.できる. 4.ほぼできる 3.できる可能性がある 2.ほぼ出来ない 1.できない

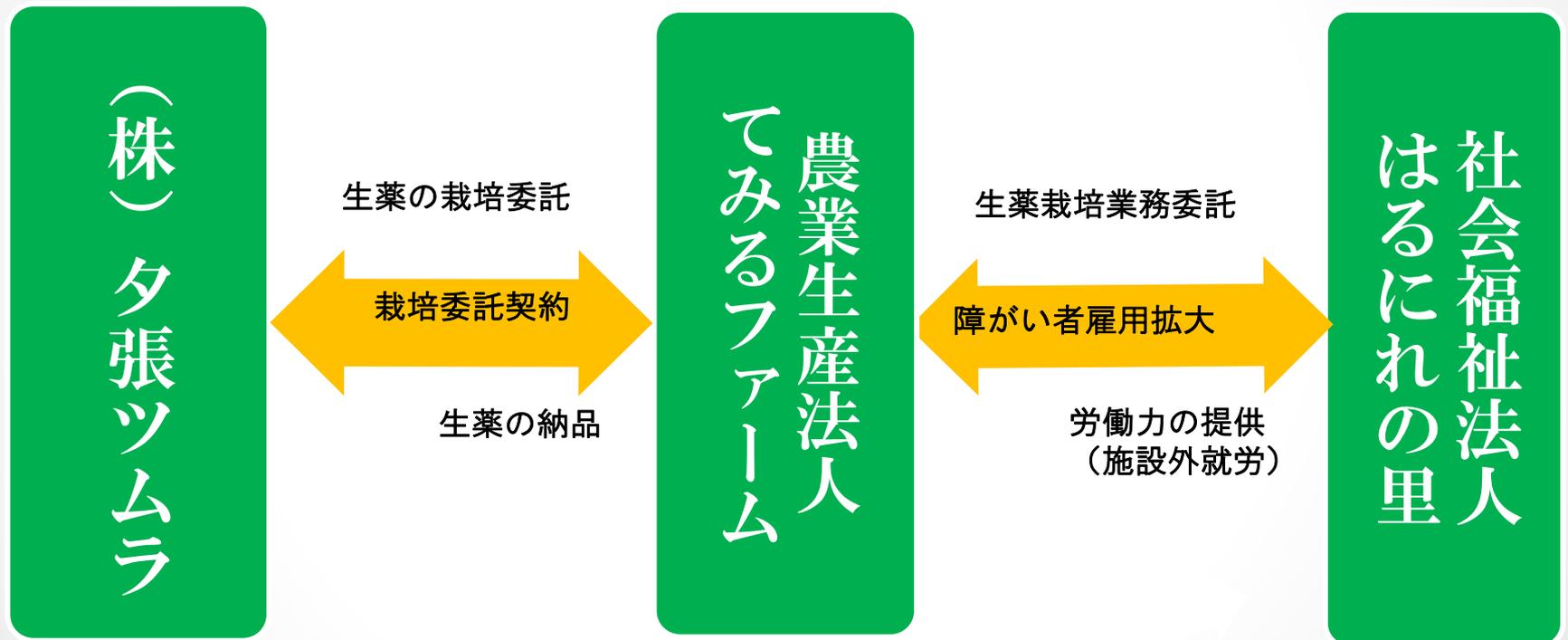
区分	評価項目	特記事項		本人	企業
		本人	雇用側		
生活面	1.欠勤遅刻早退			4	
	2.挨拶返事			4	
	3.コミュニケーション			4	
	4.前向きさ			4	
	5.清潔・服装			4	
	6.健康管理			4	
	7.注意			4	
	8.時間			4	
	9.けじめ			4	
作業面	1.報告			0	0
	2.道具の扱い			4	
	3.準備・後片付け			4	
	4.集中			4	
	5.指示の理解			4	
	6.手順			4	
	7.道具の使い方			4	
	8.作業スピード			4	
	9.作業の安定性			4	
	10.ミスへの対応			4	
				0	0

仕事内容	作業種	コメント	評価
	生計倉庫	組立室でゴックの作業を主に、エビラの乾燥機を主に コントロール入れ、数量を計り、お掃除を主に、完成させる 最近、お掃除の作業が少なくなり、お掃除の作業が 大きく減っています。	

農業生産法人てみるファームの設立

- 社会福祉法人はるにれの里の有志を中心として、石狩市内で農業を通じ障がい者の一般就労を図るべく設立
- 事業目的 生薬の栽培、加工、販売通して障がい者の雇用拡大を目指す。
- 平成22年4月より、株式会社ツムラさんと委託栽培契約を締結し、生薬の栽培を中心に取り組みを進めている
- 就労継続A型事業所マルシェの利用者の施設外就労として受入れ事業を進めてきた。
- 平成26年7月にマルシェの利用者から、一般就労としての雇用を開始する。
- 提携先 株式会社ツムラ 株式会社夕張ツムラ

障がい者の雇用拡大のために







【農業として薬草栽培をする意義】

- ①対人関係スキルがなくても農業就労は可能
- ②薬を作るという使命は発達障がい者にとって誇りとなる
- ③栽培から最終加工まで多くの作業バリエーションがあり、
- ④発達障がい者のそれぞれの特性に応じて柔軟にノルマ設定が可能

【現場の状況】

- 作業工程を全体を理解、改善のために自分の意見を出せるようになった
- 単独の個別で作業を継続できることは、対人関係の苦手な方にとって有意義
- 茯苓の栽培については、記録取、収穫、加工と作業工程を覚えると自立しておこなえる
- 漢方薬の原料を作り、ツムラさんの社員さんがくる事を楽しみしている
- 栽培について認めてくれる事が達成感につながっている
- 特別支援学校の実習、ハローワークの体験実習の結果、ほとんどの方が就職を希望している
- 現在、A型利用者、就労継続B型、てみるファーム社員1名の利用者22名 職員10名で作業を進めている。

生産物（農産物・薬用作物）の付加価値を高め、販路拡大し、障がい者の方々に本格的な就労の場（雇用の機会）を提供する。

現在取り組んでいる品目以外に、実需者と連携して、北海道での生産に適した薬用作物を選定し、品目拡大、生産量の拡大に取り組む。